

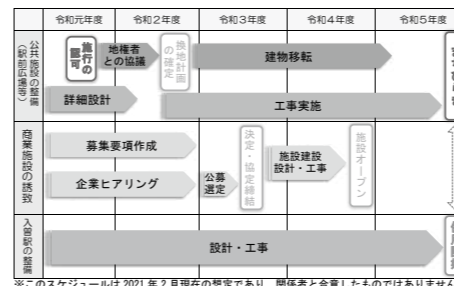
# 入曽駅周辺整備事業の進捗を確認

## 建設環境委員会

今期定例会においては、議案審査8件に加え、「入曽駅周辺整備事業の進捗状況」について所管事務調査を行い、令和2年度の進捗状況と今後の予定について都市建設部より説明と報告を受けました。

### 【駅前広場、道路整備】

仮換地が終了し、物件補償契約が進められている。自転車駐車場は、利用状況の調査をし、これを踏まえ代替施設等、検討する。アクセス道路の整備状況は①入曽駅入口交差



入曽駅周辺整備事業のスケジュール(想定)

点から飯能信用金庫までを拡幅し歩道を設置する。②県道川越入間線から駅西口までの路線の概略設計を行い整備計画を決定する。

### 【複合型商業施設の誘致】

入間小学校跡地活用事業者選定委員会等について説明があった。小学校記念碑はB街区隣の公園へ移設。跡地のケヤキは伐採し、後継木を育てるなどを予定。

「商業施設の誘致についての反応は」との質疑に、「10社程度がヒアリング中。問合せも多く関心の高さを示している。」との答弁がありました。

### 【橋上駅舎、東西自由通路】

「基本設計その2」が完成後、実施設計を行い橋上駅舎及び東西自由通路の整備費が確定する。駅前の安全な環境を確保するため、改札は橋上に集約する。

「スケジュールどおり、事業は進展しているのか。」との質疑に、「現在、市が実施する事業は計画どおり進行しており、令和5年度中のまち開きを目標に進めている。」との答弁がありました。

# そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)

## 子どもたちに豊かな教育を

大沢 えみ子 (日本共産党)



録画配信の2次元コード

画を見直し、全市的に再検討する考えは。  
**生涯学習部長** 現時点においては基本方針を再検討することは考えていない。国の動向を注視し、基本方針の見直しが必要となる状況が生じた場合には、対応する。

◆障害を持つ子と持たない子が共に学ぶ環境を  
障害を持つ子も持たない子も、可能な限り通常学級で共に学ぶことについて、教育委員会としての基本的な見解は。

**学校教育部長** インクルーシブ教育システムの理念に基づく教育の推進に重点的に取り組んでいる。障害のある子どもと障害のない子どもと一緒に参加する活動は、相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育むなど、全ての児童生徒にとって大変意義深いことと捉えている。



### ◆少人数学級の早期実施を

コロナの中で、国も35人以下学級を打ち出した。狭山市でも早期に実施してほしいが、少人数学級の効果とスケジュールは。

**教育長** 個に応じたよりきめ細やかな指導と、よりよい教育環境がもたらされると考える。

**学校教育部長** 埼玉県では、全国より1年前倒しで、小学校3年生での35人学級の実施も可能である。加配教員が学級担任になるため、各校の実態などを配慮し、進めていく。

### ◆現在の学校統廃合計画は見直しを

入曽地区で協議会を立ち上げるとのことだが、今後の少人数学級を見据えて、現在の統廃合計画その他のテーマ▶サピオ稲荷山の政策決定の在り方

## 急変する柏原地区の交通安全対策は喫緊の課題

笹本 英輔 (改進黨)



録画配信の2次元コード

### ◆有料橋の無料開放に伴う安全対策は

道路公社事務所から柏原小入口交差点までの安全対策を講じているか。

**市民部長** 交通量の増加を見据え、通学路に標識を設置したり、運転者への注意を促す対策が考えられるが、令和2年度に埼玉県が実施した周辺交差点の交通量の調査結果を踏まえて、交通量の増加や渋滞などから生じる課題を整理し、県や狭山警察署など関係機関と協議し、安全対策を講じる。

### ◆入間川にここテラス飲食施設開店に伴う対策は

飲食施設開店に伴い交通渋滞が予測されるが、どのような状況を想定し対策を講じているか。

**環境経済部長** 昭代橋付近は時間帯によって、渋滞が発生する。飲食施設の利用に伴う渋滞の防止のため、公園内の駐車場を拡張し、計85台分を確保した。混雑が発生する場合には、昭代橋下流の臨時駐車場を案内することで、渋滞の緩和及び防止を図る。

### ◆複合化する地域の交通課題を警察と連携して解消へ

警察などの関係機関との連携状況は。

**市民部長** 2年度から、市、県と狭山警察署で調整会議が設置され、狭山環状有料道路の無料化で想定される課題や安全対策について協議している。無料開放後においても、引き続き、関係機関と調整し、必要な対策を講じる。



お店も地域の安全対策も両立を

# 市民から信頼される議会を目指して2年間の活動の振り返り

## 議会運営委員会

令和元年及び2年度での具体的な取り組みは次のとおりです。

- 1 市民にわかりやすい議会・円滑な議会運営
  - ①令和元年度は子ども・議会体験プログラムを開催。過去最多の小学生33名が議会活動を体験し、身近なものに感じていただきました。
  - ②議場のモニターを活用し、一般質問補足資料の表示を開始しました。



子ども・議会体験プログラム(令和元年7月開催)

- ③議員間で自由討議の場を新設して、定例会ごとに議会運営の課題など協議しています。また、反問権の導入、政策能力向上の方策など、議長からの諮問事項を協議し、答申しました。
- ④反問権についての研究と協議
  - 令和2年11月に所沢市議会へ行政視察を行いました。反問権の導入の必要性について引き続き協議してまいります。

### 2 大規模災害時など緊急時にも機能する議会

①狭山市議会災害対応指針」をより実践的に機能するものに見直し、災害発生時の行動フローを示した議員用マニュアルを作成しました。

②新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を鑑み、「狭山市議会感染予防対応マニュアル」を定め、議員の感染予防を徹底しました。

### 3 コロナ禍での議会運営

今議会だよりの2ページの記事をご参照ください。

ここに掲載していない一般質問の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページでのご案内は、ホームページをご覧ください。

04-2953-1111 内線3313